盛岡市地域福祉計画アンケート調査票
（一般用（高校生等を除く18歳以上））

≪あなた自身のことについておうかがいします≫

問１　あなたの性別をお答えください。（１つ）

１．男　　２．女

問２　あなたの年齢をお答えください。

満 □□ 歳

問３　あなたは、盛岡市にお住まいになって、通算して何年くらいですか。（１つ）

１．５年未満　　２．５年～10年未満　　３．10年～20年未満
４．20年～30年未満　　５．30年以上

問４　あなたのお住まいはどちらですか。町名でお答えください。
（記載例：大通、上米内、津志田、玉山区渋民などのように町名のみの記入で構いません）

□

問５　あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（１つ）

１．単身
２．夫婦のみ
３．夫婦と子、または夫婦と親（二世代）
４．母と子、または父と子
５．親・子・孫（三世代）
６．その他（　　）

問６　現在暮らしている住宅は次のどれにあたりますか。（１つ）

１．持ち家（一戸建て）　　２．持ち家（マンション）
３．借家（一戸建て）　　４．借家（アパートやマンション）
５．その他（　　）

≪地域とあなたの関わりについておうかがいします≫

問７　あなたは、地域の人とどのような付き合いをしていますか。（２つまで）

１．仲がよく、お互いの家を行き来する
２．会えば立ち話をする
３．顔を合わせればあいさつをする
４．顔は知っているが声をかけることはない
５．ほとんど顔も知らない
６．その他（　　）

問８　あなたは地域活動に参加していますか。（１つ）

１．参加している　　２．参加していない

問８-1　参加している地域活動
（あてはまるものすべて）

１．一斉清掃
２．祭り
３．地区運動会・スポーツ大会
４．資源回収
５．小中学校行事
６．地区文化祭
７．子ども会行事
８．学校協力活動
９．青年会活動
10．老人クラブ活動
11．女性団体活動
12．防災訓練
13．育児支援活動
14．その他の行事
（　　）

問８-2　参加していない理由
（３つまで）

１．仕事をもっているので時間がない
２．どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
３．興味のもてる活動が見つからない
４．健康や体力に自信がない
５．家事・育児に忙しくて時間がない
６．病人・高齢者・障がい者の介護などで時間がない
７．地域活動をするうえでの経済的負担が大きい
８．家族の理解がない
９．地域にあまり関わりたくない
10．地域活動は必要がないと思う
11．その他
（　　）

問９　今後、地域活動への参加の依頼があった場合あなたはどうしますか。（１つ）

１．積極的に参加したい
２．内容によっては参加したい
３．当番制ならする
４．おそらく断る
５．その他（　　）
６．わからない

問１０　将来も現在の地域で暮らしていきたいと思いますか。（１つ）

１．暮らしたい
２．できれば暮らしたい
３．あまり暮らしたくない
４．暮らしたくない
５．わからない

≪地域の支え合いに関するあなたのお考えについておうかがいします≫

問１１　市内では､地域福祉活動を行っている地区福祉推進会が組織されていますが、ご存知ですか。（１つ）

１．知っている　　２．知らない

※地区福祉推進会は、地区の老人（児童）福祉センターや活動センターなどを拠点として、地域における福祉活動を推進する団体です。その名称は一般的に〇〇地区福祉推進会という名称ですが、〇〇地区活動福祉推進協議会、〇〇地域（地区）振興福祉（推進）協議会等々の名称の場合もあります。主な事業にスポーツ大会、地域青年活動、世代間交流、高齢者ふれあい座談会、ふれあい給食会、シルバーメイト事業、その他推進会独自に講演会や文化祭などさまざまな活動を展開しています。

問１２　隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、隣近所の人に手助けしてもらうとしたらどんなことをしてほしいですか。

項目	（１）手助けできること		（２）手助けしてほしいこと	
	できる	できない	してほしい	いらない
(1) 安否確認の声掛け	1	2	1	2
(2) 話し相手	1	2	1	2
(3) 悩み事、心配事の相談	1	2	1	2
(4) ちょっとした買い物	1	2	1	2
(5) ちょっとした家事（電球交換など）	1	2	1	2
(6) ごみ出し	1	2	1	2
(7) 玄関前の掃除や除雪	1	2	1	2
(8) 短時間の子どもの預かり	1	2	1	2
(9) 子育ての相談	1	2	1	2
(10) 保育園・幼稚園の送迎	1	2	1	2
(11) 通院の付き添い	1	2	1	2
(12) 病気の時の看病	1	2	1	2
(13) その他 ①地域で困っている世帯に対してできることがあれば、具体的にご記入ください。 ②手助けしてもらいたいことがあれば、具体的にご記入ください。	① ② 			

問１３　地域に支えられた（助けられた）と感じたことはありますか。（１つ）

１．ある　　２．ない　　３．わからない

問１４　問１３で「１」を選んだ方におうかがいします。支えられた（助けられた）と感じたのはどんなときでしたか。ご記入ください。

（　　）

問１５　地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることは何だとお考えですか。（３つまで）

１．近所付き合いが減っていること
２．町内会・自治会の活動などに参加しにくい雰囲気があること
３．一人親家庭、障がい者家庭への偏見があること
４．他人に干渉されプライバシーが守られないこと
５．日中、地域を離れている人が多いこと
６．地域に関心のない人が多いこと
７．地域活動への若い人の参加が少ないこと
８．地域での交流機会が少ないこと
９．助け合い、支え合いは必要ないと思うこと
10．その他（　　）

問１６　あなたは今、日常生活で困っていることがありますか。（１つ）

１．ある
２．ない→問１８－２へ

問１７　問１６で「１」を選んだ方におうかがいします。それはどんなことですか。（あてはまるものすべて）

１．病気のこと　　２．介護のこと
３．家族関係のこと　　４．近所付き合いのこと
５．経済的なこと　　６．子育てのこと
７．その他（　　）

問１８　日常生活の困っていることは誰に相談していますか。または、誰に相談したいですか。（１～13のあてはまるものすべての番号に〇をしてください。）

項目	問１８－１ 問１６で「ある」とお答えの方 困っていることを誰に相談していますか。	問１８－２ 問１６で「ない」とお答えの方 今後困った時誰に相談したいですか。
(1) 家族	1	1
(2) 親戚	2	2
(3) 知人・友人	3	3
(4) 近所の人	4	4
(5) 市役所	5	5
(6) 民生委員・児童委員	6	6
(7) かかりつけの医師	7	7
(8) 福祉サービス事業者	8	8
(9) 社会福祉協議会	9	9
(10)ボランティア団体・NPO 法人	10	10
(11)その他（わからないを含む）	11 （　　）	11 （　　）
(12)相談できる人はいない	12	12
(13)相談していない（しない）	13	13

問１９　問１８で「13」を選んだ方におうかがいします。相談しない理由は何ですか。（１つ）

１．自分でぎりぎりまで頑張りたいから
２．自分や家族で何とかやっているから
３．誰に相談すればいいかわからないから
４．気軽に相談できる相手がいないから
５．自分や家族のことを他人に知られたくないから
６．その他（　　）

問２０　日常生活において困ったことが起きた場合でも、誰もが住みなれた地域で生活していくために必要な手助けは、誰が（どこが）行うべきだと思いますか。（３つまで）

１．支援を必要とする人の家族
２．地域の住民
３．行政機関（市役所など）
４．社会福祉協議会
５．福祉や保健のサービスを提供する施設や事業者
６．ボランティア団体・ＮＰＯ法人
７．民生委員・児童委員
８．町内会・自治会
９．地区福祉推進会
10．わからない
11．その他（　　）

問２１　現在、市では「災害時要援護者名簿」づくりを進めています。これは災害が発生したときに地域住民の方々に避難支援などに活用していただくためのものですが、このような「災害時に住民が支え合う地域づくり」には何が必要だと思いますか。（３つまで）
※「災害時要援護者名簿」…一人暮らし高齢者など災害が発生した際に、家族などの援助が困難で何らかの助けを必要とする方の名簿

１．自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）
２．地域の高齢者などがどこに住んでいるか一目でわかる「マップ（地図）」の作成
３．地域での定期的な避難訓練
４．地域やグループなどでの勉強会
５．福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携
６．わからない
７．その他（　　）

問２２−１　次に掲げる９つの地域活動について、10年くらい前と比較して、どの程度進んだと感じますか？
(1)～(9)のそれぞれについて、1～5の該当する番号を選んでください。（１つ）

項目	大いに進んだ	少し進んだ	変わらない	少し後退した	大いに後退した
（例）〇〇活動	1	(2)	3	4	5
(1) 支え合い活動（見守りなど）	1	2	3	4	5
(2) 災害時の避難対策	1	2	3	4	5
(3) 地域福祉のリーダー育成	1	2	3	4	5
(4) 日常生活課題の解決能力の向上	1	2	3	4	5
(5) 関係機関・団体の連携	1	2	3	4	5
(6) 世代間交流	1	2	3	4	5
(7) 雪かき体制整備	1	2	3	4	5
(8) ボランティア活動	1	2	3	4	5
(9) あいさつの活性化	1	2	3	4	5

問２２−２　今後、地域における福祉を充実させるために、重要だと思う取り組みについて、次の中から選んでください。（３つまで）

１．支え合い活動を広める（「見守り」、「話し合い」、「助け合い」について）
２．災害時、一人残らず避難させる
３．地域福祉のリーダーを見つけ、育成する
４．地域のみんなが日常困っていることを知り、解決する
５．協力しあえる機関・団体と手を取り合う
６．世代間交流を活性化する
７．地域の雪かき体制を整える
８．地域のボランティア活動を進める
９．あいさつが活発な地域にする
10．その他（　　）

≪ボランティア活動に関することについておうかがいします≫

問２３　ボランティア活動をしたことはありますか。（１つ）

１．ある　　２．ない（**→問２６へ**）

問２４　問２３で「１」を選んだ方におうかがいします。どんなボランティアをしましたか。（あてはまるものすべて）

１．高齢者関係（友愛訪問、クラブ活動への協力支援や施設訪問交流など）
２．障がい者関係（手話や車椅子補助、社会参加・生活支援や施設訪問交流など）
３．子育て関係（託児、育児相談や育児サークルの支援や施設訪問交流など）
４．保健・医療関係（健康教室の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など）
５．青少年関係（悩み相談や交流、地域子ども会活動による健全育成支援など）
６．環境関係（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）
７．災害関係（被災地におけるがれき撤去、側溝の泥上げ、地域活動支援など）
８．その他（　　）

問２５　問２３で「１」を選んだ方におうかがいします。あなたがボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。（３つまで）

１．困っている人や団体に頼まれたから
２．人に誘われたから
３．人の役に立ちたいから
４．自分たちのために必要な活動だから
５．楽しそうだから・おもしろそうだから
６．余暇を有効に活用したいから
７．趣味や特技を活かしたいから
８．学校の授業などで機会があったから
９．付き合い上、やむを得ず
10．何となく
11．その他（　　）

問２６　問２３で「２」を選んだ方におうかがいします。ボランティア活動に参加したことがないのはどんな理由からですか。（３つまで）

１．育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから
２．仕事や家事などが忙しく時間が取れないから
３．自分の健康に自信がないから
４．人と接するのが好きではないから
５．活動に費用がかかりそうだから
６．一度始めると拘束されて、やめられなくなりそうだから
７．活動したいとは思っているが、きっかけがないから
８．身近に活動できる場所やグループがない（知らない）から
９．ボランティア活動にあまり興味や関心がないから
10．その他（　　）

問２７　今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（３つまで）

１．ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助する
２．企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする
３．学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う
４．地域での子どものボランティア活動を活発に行う
５．ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
６．ボランティア研修を開催し、人材を養成する
７．ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う
８．その他（　　）
９．わからない

≪福祉サービスにおける権利擁護についておうかがいします≫

問２８　あなたが子育てや高齢者・障がい者の介護などに関する福祉サービスを利用した時に、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか（１つ）

１．ある　　２．ない　　３．福祉サービスを利用したことがない

問２９　問２８で「１」を選んだ方におうかがいします。その後どのようにしましたか。

１．サービスの事業者（責任者）に申し出た
２．市役所など公的機関に相談した
３．民生委員・児童委員など地域の役員に相談した
４．家族や友人・知人に相談した
５．福祉サービス運営適正化委員会に相談した
６．弁護士などに相談した
７．サービスを受ける側なのであきらめた
８．その他（　　）

≪今後の地域福祉のあり方についておうかがいします≫

問３０　子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）についてどのように行うべきだとお考えですか。（２つまで）

１．学校教育の中で学ぶ
２．家庭の中で親から学ぶ
３．地域の活動などを通じて学ぶ
４．生活していく中で自然に身につく
５．テレビやラジオなどを通じて学ぶ
６．特に必要はない
７．その他（　　）
８．わからない

問３１　あなたは、福祉や健康に関する情報を何から入手していますか。
（あてはまるものすべて）

１．広報もりおか
２．市のパンフレットなど
３．福祉もりおか（市社会福祉協議会発行）
４．民生委員・児童委員
５．隣近所の人
６．回覧板
７．病院や施設
８．新聞
９．テレビやラジオ
10．書籍や雑誌
11．家族や友人・知人
12．インターネット
13．その他（　　）
14．特に入手していない

問３２　あなたは、福祉や健康についてどんな情報を知りたいとお考えですか。（３つまで）

１．健康づくりについてのサービスの情報
２．子育てについてのサービスの情報
３．高齢者や障がい者についてのサービスの情報
４．福祉や健康についてのサービス利用方法についての情報
５．介護保険についての情報
６．介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報
７．ボランティア活動やＮＰＯなどの市民活動についての情報
８．健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）についての情報
９．高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報
10．その他（　　）
11．特にない

問３３　地域福祉を充実させていくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。（１つ）

１．家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである
２．福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである
３．福祉を充実する責任は行政にあり、住民はそれほど協力することはない
４．行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力するべきである
５．その他（　　）
６．わからない

問３４　誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。（３つまで）

１．福祉や保健に関する情報提供を充実させる
２．支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する
３．福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす
４．地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材（地域福祉のリーダー）を育てる
５．住民間の調整や住民と関係団体をつなぐ人材（地域福祉のコーディネーター）を育てる
６．福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする
７．地域福祉活動の拠点となる場所（サロン）を創出する
８．社会保障制度（年金・医療・介護）の安定を図る
９．地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る
10．学校などでの福祉や保健に関する教育を充実させる
11．多くの住民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う
12．道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める
13．その他（　　）

問３５－１　盛岡市では地域福祉計画を策定し、地域福祉の推進に取り組んできましたが、計画策定前（平成17年）と比較して、次に掲げる18の施策について、どの程度進んだと感じますか？
(1)～(18)のそれぞれについて、1～5の該当する番号を選んでください。（１つ）

項目	大いに進んだ	少し進んだ	変わらない	少し後退した	大いに後退した
（例）〇〇の取り組みについて	1	②	3	4	5
(1) 福祉教育の推進	1	2	3	4	5
(2) 生活環境の整備（バリアフリー、ユニバーサルデザイン等の普及）	1	2	3	4	5
(3) 地域における災害時の体制整備（自主防災隊の結成、防災マップの作成等）	1	2	3	4	5
(4) 地域福祉に関連する人材の育成	1	2	3	4	5
(5) 福祉に関連する事業の育成（民間事業者やＮＰＯなど幅広い事業主体の福祉関連事業への参加等）	1	2	3	4	5
(6) 福祉サービスの充実	1	2	3	4	5
(7) 福祉サービスの質の向上	1	2	3	4	5
(8) 福祉に関する相談体制の充実	1	2	3	4	5
(9) 権利擁護事業の推進（意思表示が困難な障がい者や高齢者の金銭管理等の日常生活支援等）	1	2	3	4	5
(10) 福祉の相談・苦情対応の推進	1	2	3	4	5
(11) 関係機関の連携の推進（保健・医療・教育などとの連携）	1	2	3	4	5
(12) 情報提供体制の整備	1	2	3	4	5
(13) ボランティアとの協働	1	2	3	4	5
(14) ＮＰＯとの協働	1	2	3	4	5
(15) 事業者との協働	1	2	3	4	5
(16) 地域活動への参加の促進	1	2	3	4	5
(17) 世代間交流の促進	1	2	3	4	5
(18) 地域における雪かきの推進	1	2	3	4	5

問３５−２　今後、地域福祉を充実させるために、重要だと思う取り組みについて、次の中から選んでください。（３つまで）

１．福祉教育の推進　　２．生活環境の整備　　３．地域における災害時の体制整備
４．地域福祉に関連する人材の育成　　５．福祉に関連する事業の育成
６．福祉サービスの充実　　７．福祉サービスの質の向上
８．福祉に関する相談体制の充実　　９．権利擁護事業の推進
10．福祉の相談・苦情対応の推進　　11．関係機関の連携の推進
12．情報提供体制の整備　　13．ボランティアとの協働
14．ＮＰＯとの協働　　15．事業者との協働
16．地域活動への参加の促進　　17．世代間交流の促進
18．地域における雪かきの推進　　19．その他（　　）

問３６　誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるためにご意見ご要望がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました